

学校給食費無償化の状況について

1 都内各市区の状況について

市部 狛江市が第3子以降無償化、武蔵村山市が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し令和5年6月から9月末まで時限的に無償化、府中市が令和5年10月から令和6年3月末まで財政調整基金を使って無償化を行っている。立川市は新市長が令和6年度に無償化を行うことを打ち出している。

区部 23区中21区がすでに無償化または今後無償化の予定である。

うち、中学生のみ無償化は1区(足立区)、第2子以降無償化は2区(新宿区、練馬区)無償化を行っていないのは2区(中野区、渋谷区)

無償化を行っていない中野区は実質給食費の6か月分の費用(小学生3万円、中学生3万7千円)を区内の全小中学生(私立も含む)に現金給付を行う。

2 国の動き

国は令和5年6月13日に示した「子ども未来戦略方針」で「学校給食費の無償化の実現に向けて、まず、学校給食費の無償化を実施する自治体における取組実態や成果・課題の調査、全国ベースでの学校給食の実態調査を速やかに行い、1年以内にその結果を公表する。その上で、小中学校の給食実施状況の違いや法制面等も含め課題の整理を丁寧に行い、具体的方策を検討する。」と記載している。

3 無償化する際に必要な費用

令和5年の給食費

		人数(人)	1食単価(円)	給食回数(回)	金額(円)
小学校	低学年	2,202	260	198	113,358,960
	中学年	2,187	270	198	116,917,020
	高学年	2,137	280	198	118,475,280
小学校計					348,751,260
中学校		1,991	340	199	134,711,060
令和5年度給食食材費高騰対応臨時補助金					36,917,000
総計					520,379,320

※令和4年度決算において就学援助・特別支援教育就学奨励費の学校給食費として38,762,659円支出している。